

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学研究法		選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
柁木 隆寿	B306	t.masaki	金曜日 12:00~14:30		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 心理学という学問において、実証的な研究実践がどのような重要性を持っているのかを理解する。様々な研究方法について理解し、心理学研究の立案、実施、発表ができるようになる。</p> <p>〈概要〉 心理学は「こころ」の働きを科学的に探究する学問である。本講義ではまず、心理学が「科学的」であるためにどのような研究方法を開発し、それをどのように実践してきたのかを解説する。各研究方法を理解したのちに、グループ毎に研究を立案・実施し、適切な知識と技術の定着を目指す。</p> <p>授業方法として、Microsoft Teams を利用した同時双方向型の遠隔授業を行う。</p>				
学習上の助言	積極的なグループでの活動、講義中の質疑応答が求められる。また、他の心理学系講義で学んだ知識、技術が必要となるので復習しておくこと。				
教科書	心理学研究法―心を見つめる科学のまなざし 補訂版 / 編：高野陽太郎・岡隆 / 有斐閣アルマ				
参考書	随時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学研究の目的・意義、各種研究方法の基礎知識について理解し、説明できる。			心(2)	
②	心理学の研究計画を立てることができる。			心(2)	
③	実施した研究について、研究分野の慣例に従った適切な報告ができる。			心(2)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：講義の進め方について理解する。各自が関心のあるテーマを紹介する。	同時双方向型授業	興味のある心理学的な研究テーマを考える。	2	
2	心理学研究における「科学性」と「実証性」について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書・配布資料の対応部分をまとめる。	3	
3	相関関係と因果関係、観察と実験について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書・配布資料の対応部分をまとめる。	3	
4	独立変数、従属変数、余剰変数について学ぶ。	同時双方向型授業	教科書・配布資料の対応部分をまとめる。	3	
5	面接法について学ぶ。	同時双方向型授業	面接法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
6	調査法について学ぶ。	同時双方向型授業	調査法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
7	観察法、実験法について学ぶ。	同時双方向型授業	観察法、実験法の特徴を整理し、研究例を考える。	3	
8	研究計画の立案を行う (1)。	同時双方向型授業	関心のある研究テーマの過去研究を調べ、まとめる。	5	
9	研究計画の立案を行う (2)。	同時双方向型授業		5	
10	研究実施の準備を行う。	同時双方向型授業	研究実施に必要な情報、器具を準備する。	5	
11	立案した研究を実施する (1)	同時双方向型授業	集めたデータを整理・分析し、発表準備やレポート作成に必要な情報を集める。	5	
12	立案した研究を実施する (2)	同時双方向型授業		5	
13	研究発表の準備を行う。	同時双方向型授業	発表スライドの作成、発表練習を行う。研究発表の質疑応答で得られた知見をもとに、レポートを作成する。	6	
14	研究発表を行う。	同時双方向型授業		6	
15	心理学における質的研究、応用研究について学ぶ。これまでの学習の総括を行う。	同時双方向型授業	教科書・配付資料をもとに本講義で得た知識・技術を整理する。	3	
試					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	10	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	心理学の研究レポートを作成する。体裁、内容、表現力等により 10 段階で評価する。				Microsoft Teams を用いて、提出されたレポートは添削後に返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	研究成果のプレゼンテーション（口頭発表）を行う。その内容、技術、質疑応答の対応について評価する。				Microsoft Teams を用いて、講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中の発言や、グループワークにおける取組みの態度や意欲、そして課題の達成度を統合的に評価する。				Microsoft Teams を用いて、講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>履修する学生は第 1 回目のオリエンテーションに<b>必ず出席し</b>、内容を確認すること。公欠等、やむを得ない理由で出席できない場合は、第 1 回目授業が始まる前までに、担当教員に必ず連絡すること。</p> <p>「心理学基礎実験」、「心理データ解析」、「心理データ解析Ⅱ」を履修中、あるいは単位取得済みであることが望ましい。そうでない場合は教員に事前に相談のこと。統計的知識、データ処理の方法、基本的な実験の技術など、不足分の知識を補いながら受講すること。</p> <p>「卒業研究」を履修する希望のある学生の受講が望ましいが（特に発達臨床心理コース）、そうでなくても、研究意欲の高い学生であれば受講を歓迎する。</p> <p><b>実践的授業の内容：</b>グループワークとして心理学研究の立案、実施、発表を行う。</p> <p>※Microsoft Teams を使って同時双方向型の遠隔授業を行う。課題ダウンロードやオンライン発表などを行うので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>※今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される場合がある。</p>							